

茨城県生協連ニュース 臨時号 No.27

茨城県豪雨災害復興関連情報 がんばろう！

2015年10月12日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館 5F 電話 029(226)8487

**このたびの豪雨による甚大な被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
被災された皆様の一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。**

守谷市に本部がある常総生協さんも現地の片付け作業や炊き出し活動を精力的に行ってきました。常総生協に組合員さんからお礼の手紙が届きました。ご紹介いたします。

「生協のみなさん、助けて頂いて本当にありがとう」

前略

常総生協の皆さん、水害時に助けて頂いて本当に感謝します。

道路の水が引き、通れるようになって避難先から初めて家を見に来たとき、これ程ひどい有様とは思ってもよらず自分の体力と合わせ、やるしかない自分の事は考えてられず、常総生協の皆さんに励ましの言葉といたわり、思いやりに助けられ、涙の出るほどの御力に助けられ、また岩手県の方々から飲料水を頂きありがとうございました。

生協さんの方々から家の事も手伝って頂き、昼食にはおにぎりやゆで卵を作って来て下さり、食に満たされ心が豊かになり、余ったおにぎりも下さいましたので、近所の方や避難先に帰るとき友達に会い、昼食も食べてないと言うのでシソジュースとおにぎりをあげた時喜んでほおぼって下さいました。今会ったときや電話であの時はおいしかったと言ってくれます。

その後生協さんが炊き出しをして下さりいたれりつくせりで、スーパーに買い物に行くに行けず時間がない中で、感謝の気持ちでいっぱいです。生協さんの食材は安心して食することが出来なによりです。

今迄の生活の様にはいきませんが3~4ヶ月すればなんとか生活のメドが着くと思ひ、あとひとふんばりしなくては思っているところです。また少し気が休まると今迄の疲れが出て、そんな事言ってる場合ではない事は承知の上ですが、常総生協さん達の明るい笑顔に支えられ、何の恩返しも出来ず恐縮しています。

もったもった書き足りない事が沢山ありますが、息子達共々一言御礼迄とさせて頂きます。まだまだ御世話をかけますが、よろしく願い致します。(常総市在住 Mさんより)



【写真は10/10北水海道駅での炊き出しの様子】

【常総生協の柿崎さんから常総市内の報告をいただいていますので紹介させていただきます。】

市内からはだいぶ粗大ごみは無くなってきました。市内を走る常総線も、30%運行を本日開始しました(画像。10/10北水海道駅)。

ただ、今回の被害が地域的にもきわめて局地的なこともあり、被災者が職場に行っても話が合わなかったり、忘れられてしまって孤独さを感じたり、「心の問題」が大きくなってきているようです。

あとは家の改修改修や生活再建に向けた経済面での不安が、特に高齢世帯で抱えられています。

今後は常総生協だけのきめ細かい活動はなかなか難しいので、地元のNPOを協力して今後進める方向です。

2 週前までは毎日北水海道駅で炊き出しをしていましたが、今後は毎週水曜にしぼり、土曜は消毒/清掃の作業に移行します。

<お問い合わせ>茨城県生活協同組合連合会(担当 古山・鈴木・原)TEL 029-226-8487 Fax 029-224-1842

Mailibkenren@ibaraki-kenren.coop

以上